

みずほCustomer Desk Report 2019/05/13 号 (As of 2019/05/10)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	109.92 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.83	1.1219	123.22	1.3014	0.6989
SYD-NY High	110.05	1.1253	123.61	1.3047	0.7019
SYD-NY Low	109.47	1.1214	123.05	1.2992	0.6978
NY 5:00 PM	109.95	1.1236	123.51	1.3000	0.6999
NY DOW	25,942.37	114.01	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,916.94	6.35	日本10年債	-0.0500	0.00bp
S&P	2,881.40	10.68	米国2年債	2.2692	0.51bp
日経平均	21,344.92	▲ 57.21	米国5年債	2.2675	1.59bp
TOPIX	1,549.42	▲ 1.29	米国10年債	2.4716	2.04bp
3ヵ月日経先物	21,505	165	独10年債	-0.0445	0.40bp
ロンドンFT	7,203.29	▲ 4.12	英10年債	1.1350	1.25bp
DAX	12,059.83	85.91	豪10年債	1.7140	▲0.70bp
ハンセン指数	28,550.24	239.17	USDJPY 1M Vol	6.30	▲0.70%
上海総合	2,939.21	88.26	USDJPY 3M Vol	6.55	▲0.40%
NY金	1,287.40	2.20	USDJPY 6M Vol	6.80	▲0.25%
WTI	61.66	▲ 0.04	USDJPY 1M 25RR	-1.96	Yen Call Over
CRB指数	178.95	▲ 0.05	EURJPY 3M Vol	7.02	▲0.56%
ドルインデックス	97.33	▲ 0.04	EURJPY 6M Vol	7.31	▲0.40%

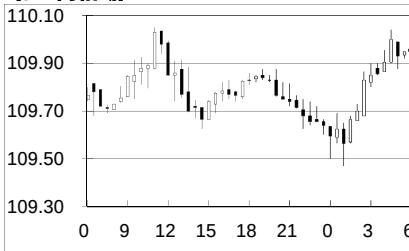
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月10日	08:50 日	対内・対外証券投資	-	-
	21:30 米	CPI (前月比/前年比)	4月 0.3%/2.0%	0.4%/2.1%
	21:30 米	コアCPI(前月比/前年比)	4月 0.1%/2.1%	0.2%/2.1%

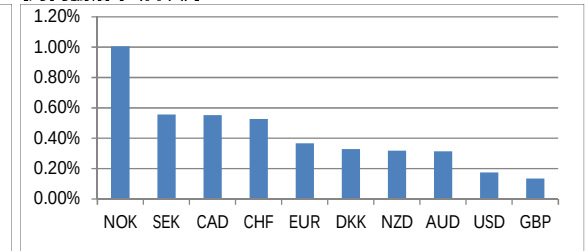
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月13日	22:05 米	クラリダFRB副議長講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.00-110.50	1.1170-1.1300	122.60-124.00

【マーケットインプレッション】

海外時間のドル円は、下落したものの持ち直す展開。米中通商協議2日目への警戒感強く残る中、弱めな米CPIもあって上値重く推移。斯かる中、米中協議は会談時間が非常に短時間で終了したため、前日安値と同水準の109.47まで値を下げるも、米中両サイドより今後も交渉継続の旨発言あると、安心感からドル円は買い戻される動きとなった。本日もイベント通過感から買い戻しが入る可能性は高いも、警戒感強く上値は重いだろう。主要指標の発表もなく米中関連のヘッドラインリスクに引続き警戒で、本日米国側より追加関税第4弾の詳細案が発表される予定。

東京	東京時間のドル円は109.83レベルでオープン。5日・10日とあって仲値にかけて買いが見られたことや、日経平均株価や中国株が堅調に推移したことによりドル円は110.05まで上昇した。米国が予定通り対中間税率を25%に引き上げ、中国政府が「米国に報復せざるを得ない」と述べると米中通商協議への警戒感からドル円は上値重く推移し、一時109.63をつける展開を見せた。その後は継続協議への期待感などから下げ渋る展開となり、結局109.78レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.78レベルでオープン。米国が対中輸入品2000億ドル分に課す制裁関税を引き上げ、中国も報復措置を取ると声明を出したが、ロンドン市場の反応は限定的。第1四半期の英GDP速報が離脱期限前の駆け込みで+0.5%(前回+0.2%)に加速したこと等を背景に109.87円まで上昇するも、新規材料に欠ける中、午後に発表される米CPIを控え、反落。先週の4月米雇用統計で、平均時給が予想を下回ったことから、今回も下振れを警戒する向きから、109.72円まで戻し、109.75レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3054レベルでオープン。英3月鉱工業生産指数が前年比+1.3%と、予想(0.5%)を大幅に上回るも、上値は限定的。週末を控えたポジション調整に終始し、1.3007レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	本日も米中通商協議が継続されることになっているものの、本日から米国による対中間税引き上げが実施されることから、警戒感から海外市場のドル円は軟調な推移が継続し、109.75レベルでNYオープン。朝方は米4月CPIがヘッドライン、コア共に予想を下回り、109.63まで下落する。その後は米中通商協議終了を前に、交渉決裂のリスクに供えてダウが300ドル近く下落する中、リスク回避の円買いが強まり、加えて米金利低下からドル売りも優勢となり、109.50まで下落する。その後一旦109.69まで戻すが、中国副首相が協議を終えUSTRを退出とのヘッドラインに、交渉が決裂したとの見方が強まり、昨日の安値である109.47まで下落する。しかし、ムニューチン財務長官が「中国との協議は建設的だった」と話したことから株式市場が下げ渋り、中国副首相も米国との通商協議は「非常に上手かった」と発言し、副首相が次回は北京で米国と協議すると発言したとの報道に、一部で懸念された物別れは無く、今後協議は継続するとの見方から、午後に入り株式市場がプラス圏へ切り返す展開に、ドル円は110.04まで戻し、109.95レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.1230レベルでオープン。朝方は米CPI結果を受けたドル売りに1.1247まで戻す。その後米中通商協議終了を控え、米金利低下を受けたドル売りに、ユーロドルは1.1253まで戻す。午後は、米中通商協議が今後も継続されるとの見方から、米金利が上昇に転じる動きに、ユーロドルは1.1228まで反落し、1.1236レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:田家・玉井